

【学校名】岩美町立岩美南小学校
 【所在地】岩美町新井419-2
 【校長名】松本 琢己
 【児童数】135人
 【令和元年度学校教育目標】
 “磨こう自分 仲間と共に
 未来に向かって、”



いわみみなみ 岩美南小



【沿革】

平成13年4月6日 岩美南小学校竣工・開校式（蒲生小・岩井小・小田小・本庄小の4校が統合）
 校歌お披露目の集い
 10月19～20日 国民文化祭（童謡唱歌の部）本校体育館で開催＊児童出演
 15年2月19日 岩美町・国頭村児童交流事業 学校交流
 16年3月26日 学校農園整備
 17年11月20日 学習発表会（6年生 歌「カントリーロード～岩美町バージョン」披露）
 20年1月12日 町新年挨拶交歓会出演（歌「きつともどるよふるさとに」初演）
 21年1月11日 町還暦の集い出演（歌「いつまでも～横尾の棚田をうたう～」初演）
 3月19日 卒業証書授与式（歌「早春のつばさ」初演）
 4月28日 緑化活動・環境美化活動環境大臣表彰
 9月16日 全日本小学校ホームページ大賞 都道府県代表校受賞
 11月24日 さくらんぼキッズ（放課後子ども教室事業）全国表彰
 22年11月7日 開校10周年記念式典（歌「ひかり」初演）
 25年4月23日 ユネスコスクール加盟認定
 10月19日 田村虎蔵先生 生誕140周年記念コンサート出演（1～3年生）
 27年4月23日 子どもの読書活動文部科学大臣表彰
 29年5月21日 運動会（じゃんしゃん傘踊り初披露）
 31年4月22日 空調施設（エアコン）整備完了
 町中央公民館ホール名の投票実施（5・6年）
 令和元年7月4日



みがこうじぶん
 自分の力を信じ、学習や運動、生活など、基礎基本をしっかり身に付けている子ども

なかまとともに
 友達と力を合わせ、学習したことを使って、主体的・対話的で深い学びをする子ども

みらいにむかって
 学習したことを社会と結び付け、社会に生かそうとする子ども

☆『知恵を磨き、心を耕し、体を鍛える』
 教育活動を通して

早春のつばさ

作詞 平家陽子
 作曲 長江昭彦

青空をまっすくに 白いラインのびてゆく
 今日のぼくらの旅立ちを 晴れやかに祝うように
 はしゃいだこと 遊んだこと 力合わせてやったこと
 いつも仲間と いっしょだった いつも笑顔が あたかかった
 ありがとう いっつも思い出された
 もう少しここにいたいと 語りかけるけど
 新しい空に向かって はばたく時が来た
 新しい空に 向かって

ぼくらのすぎなこの学び舎を 今 巣立ってゆく
 ぼくらの明日に胸を刺して 今 巣立ってゆく
 春を呼ぶ 風が吹き つばみをそとへ飛ばせ
 今日のぼくらの旅立ちの 花を胸にかざす
 泣いたこと 悩んだこと ぐっぐうと乗り越えた
 いつも誰かが 勇気をくれた いっつも一人じゃなかった
 学び舎のあちこちに 思い出あふれるから
 もう一度 この胸の中 ききみたいけれど
 希望の空に向かって はばたく時が来た
 希望の空に 向かって
 ふり向けば いっつも思い出された
 もう少しここにいたいと 語りかけるけど
 新しい空に向かって はばたく時が来た
 希望の空に 向かって はばたく時が来た

6年生と、その家族が対決した親子対抗リレー



華やかな舞で魅了した「じゃんしゃんシャングリラ」



当初、傘踊りの「岩美連」の方々が招き、傘踊りについて学んだ。そして、曲を「じゃんしゃんシャングリラ」に決めた。小学生にもできる踊りを先生方が創作したり、アレンジしたりした。1、2年生は、花等を持って踊る。3、4年生は、傘を持って踊る。大変華やかな傘踊りとなる。

三つ目は、運動会最後のプログラムとなる。6年生による集団演技。時代の流れにより、組み体操は縮小されてきた。その代わりに、今年は「集団行動」に挑戦した。

列の作り方や座り方など基本の形、歩行を行う。一番難しかったのは、歩き方。集団で合わせるための歩き方は気を抜くことができず、休憩時間も友達と一緒に何回も練習を重ねた。本番は、練習の成果を出すことができ、大成功だった。

この「集団行動」が「傘踊り」とともに、岩美南小、6年生の定番となればよいと期待している。



元氣いっぱいオリジナルソングを歌う児童

歌に込められた思い 伝統のオリジナルソング

以前、日本海新聞で紹介された替え歌の一つである「カントリーロード～岩美町バージョン」も平成17年度卒業生による作詞によるもので、代表的なオリジナルソングだ。今回は、「早春のつばさ」を紹介する。この曲は、毎年6年生が卒業式に歌っている。

岩美南小は、本年度創立19年になる。本校にあるオリジナルソングは、10曲ある。それは以下の通り。

①「カントリーロード 岩美町バージョン」②「いつまでも」③「ひかり」④「ニヤゴ」の劇中歌「ねことねすみ」⑤「ニヤゴ」エンディング「ごもたちには」⑥「おじいちゃん、おばあちゃんありがとう」⑦「きつともどるよふるさとに」⑧「G線上の岩美」⑨「岩美南小学校」校歌⑩「早春のつばさ」。

どの曲も、岩美南小の自然や学びが歌詞になっている。さて、今回は10曲目に挙げた「早春のつばさ」について紹介する。これは、平成21年度卒業式に向けて、卒業生の担任であった平家陽子教諭が「既存の曲では何となくしっくりこない」とのことから作詞をし、長江昭彦教諭が作曲して生まれた、本校オリジナル卒業式ソングだ。

小学校6年間の思い出を振り返らせてくれたり、中学校入学へ向けての応援のメッセージが含まれていた。この曲を卒業式で歌う。私たちが特に好きな歌詞は「いつも誰かが勇気をくれた」「いつもいつも一人じゃなかった」というところ。一つ一つの歌詞から、とても勇気もらえる。私たちが一つ一つの言葉を大切に精いっぱい歌い、中学生に向けてはばたくいきたい。

私たちは今年卒業なので、後輩たちには歌に込められた思いを歌い継ぎ、次の世代に歌い続けてもらいたい。



「でっかいぞ」。大きなイモに大喜び

笑顔たくさん収穫 農業体験を通して



本校では、1～6年生が縦割り班になっている。通称「なかよし班」だ。このなかよし班で、自分のペアの友達と楽しく苗植えができ、さらに仲良くなることのできた。

サツマイモの収穫は、10月28日に行った。夏の暑い日に、各学年で水やりをがんばってきたサツマイモがどんなふうになっているか楽しみにしながら畑に行った。収穫もなかよし班で行った。

土をどんどん掘り進め、サツマイモが見えると、イモが切れないように手で優しく掘った。すると、大きく育ったサツマイモが出てきて、みんなが笑顔になった。

最後に、なかよし班で一番大きなサツマイモを選んで、重さ比べを行った。結果は次の通り。

▽1班＝890g▽2班＝915g
 ▽3班＝650g▽4班＝730g
 ▽5班＝555g▽6班＝975g

全校児童が協力して楽しめるのも、たくさんの方々が準備をしてくださったり世話をしてくださったりしたおかげだ。農業体験を通して、児童たちは「いつでも感謝の気持ちを忘れることなく生活していきたい」と決意している。

岩美南小では毎年、全校児童が田植えや稲刈りをしたり、サツマイモを育てたりと、地域の方々にお世話になって農業体験をしている。今回も、多くのお母やサツマイモが収穫できた。今回は、サツマイモの苗植えと収穫について紹介する。

サツマイモ作りは、学校の敷地内にある畑で行う。事前に学校PTAの父親委員会の方々が土づくりをして、学校のクリーン活動の日に先生方と保護者が協力して「マルチ」と呼ばれる除草シートを敷いてくれた。

令和元年5月28日、全校児童が2時間目にサツマイモの苗植えを行った。

6年生が作った新聞です